



**A1** 「西塔の北側に立つ桜が見事なんです」

若木なので勢いがある、咲きっぷりが見事。私も子供も4月生まれなので桜への思い入れが強いんです。また本坊前の薄墨桜は、私が得度した10歳の年に植樹されたものなので、この木にも愛着を感じますね。

**A2** 葛城から見た奈良盆地

全明・葛城山麓を通る通称「山麓線」(県道30号御所香芝線)の南端あたりからは、北に奈良盆地を一望できます。「大和は国のまほろば」という日本武尊の歌をほうふつさせ、古人はここで国造りに動んだのかと思うと感慨深いですね。

**A3** 宿縁(しゆくえん)

人は生まれながらに過去世からの仏縁を宿しています。頂いた縁をどう受け取るかは人それぞれですが、私は数年前からその縁を心惹かれるようになりました。私たちは仏様に導かれ、生かされているのですね。



境内で会えるかな?

# 奈良の素敵なお坊さん

観光でお寺を訪ねても、お坊さんに接する機会はあまりないもの。そこで4人のお坊さんに登場願い、3つの質問に答えていただきました。自身のお寺や奈良で好きな場所、また好きな言葉。興味津々の回答は必読!

☪ 薬師寺 伽藍主事 松久保伽秀さん [まつくはかしゅう]

**A1** 「北円堂付近から見た五重塔や春日山が美しいですね」

南北に並び立つ五重塔と東金堂の背後に春日山が見えます。寺が創建された1300年前から変わらぬ風景です。春日山は春日大社の神域であり、興福寺と春日社が一体となって隆盛した時代をほうふつさせます。

**A2** 飛鳥の甘樫丘

奈良はいい所が多いので選ぶのに困りますが、甘樫丘から見た大和三山はとりわけ好きな風景です。飛鳥は興福寺の前身の斑鳩寺もあった所で、寺との縁も深い土地なのです。

**A3** 令興福力(りょうこうふくりき)

維摩経の一節で、読み下せば「福力を興さしむ」。全ての人々が幸せになれるような力(福力)を与える、という意味です。この幸せは一時的なものではなく普遍的な幸福、心の平安ともいえます。仏様はだれにもそういう幸福を授けてくれます。

※興福寺 P32参照、春日大社 P6参照、甘樫丘 P90参照



☪ 興福寺 執事長 森谷英俊さん [もりやえいしゅん]



☪ 當麻寺中之坊 副住職 松村實昭さん [まつむらじしゅう]

※當麻寺中之坊 P99参照、大峯山(地区P129C8)、太陽の道 P54参照

**A1** 「なんといっても庭園です」

中之坊の入口からすぐの国名勝庭園は当然美しいのですが、奥のボタン園まで来たところで振り返ると、季節には紅葉や桜、また東塔や二上山が見えます。前だけでなくちょっと振り返れば、いい景色が見えてきますよ。

**A2** 大峯山(山上ヶ岳)

登山が好きなんです。大峯山は修験霊場ですから信仰のためにも登りますが、景色もきれいで、麓の洞川(どろがわ)には温泉が湧いています。山上ヶ岳は女人禁制ですが、綺麗な稲村ヶ岳もいい山です。また「太陽の道」に位置する三輪山から望む二上山も好きな風景です。

**A3** 善哉(よきかな)

本来は仏様の教えを讃える言葉ですが、広い意味では、何事にも感謝して、色んなことを喜べる心持ちをも表します。自分自身もこんな境地に達したいと常々願っています。

# お坊さんに聞きました!!

お坊さんたちに伺った3つの質問は? √

**Q1** ご自身の寺でお気に入りの風景&その理由は?

※それぞれのお寺のお気に入りの風景をバックに写ってもらいました

**Q2** 奈良でお気に入りの場所&その理由は?

**Q3** 好きな言葉&その理由は?

☪ 海龍王寺 住職 石川重元さん [いしかわじゅうげん]

※海龍王寺 P44参照、曾爾村の蜚公園(地区P130G4)



**A3** 阿留辺幾夜宇和(あるべきようは)

鎌倉時代の明恵上人の言葉。人それぞれの立場や職業などにおいて、自分は今どうあるべきか常に考えて行動しなさい、と言われたものです。僧としての私の「あるべき」姿もまだわかりませんが、座右の銘にしています。

**A2** 曾爾村の蜚公園

すごい数の蜚が見られ、ここでは印象深い出来事もありました。障害のある子供と一緒に遊んだ時のこと。写真がうまく撮れない彼らに、介助の方が「心に焼き付けておかないね」と言われたのです。色んな思いが交錯して、今もあの言葉は耳に残っています。

**A1** 「本堂の縁側から眺めた境内はいいですよ」

雪柳で華やか春、紅葉の秋などそれぞれに美しく、季節のうつろいを実感できる場所です。心を静めると、鳥や虫の鳴き声、風が木々を揺らす音が、いちいち聞こえてきます。